【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| 471 | 8 | 宝塚第一 | 1 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.1　武庫川右岸のまちづくりの検討 | 1　「宝塚南口、武庫川右岸のにぎわい」を考える場づくり（今後の取り組みの検討）（1.5.1に再掲） | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 継続 | | 昨年度を上回る規模で地元自治会や商店を巻きこみ、実行委員会を立ち上げ、宝塚温泉まつり（4/２9）1500名・武庫川Uganまつり（10/21）1100人参加。<br><br>宝塚ホテル跡再開発、マンション自治会設立に向けての協議を行う | 継続 | | 地元自治会や商店を巻きこみ、実行委員会を立ち上げ、宝塚温泉まつり（5/1）700名・武庫川ＵＧＡＮまつり（10/23）1100人参加。<br><br>宝塚ホテル跡再開発、定期協議会 |
| 472 | 8 | 宝塚第一 | 2 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.1　武庫川右岸のまちづくりの検討 | 2　宝塚南口駅周辺の賑わいづくり（「生」のプロジェクト、てんてん宝塚現代美術など） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 宝塚温泉まつり　4/29<br>来場者約1500名（宝塚市きずな推進事業行政連携３年目）<br><br>Uganまつり　10/21<br>来場者約1100名　30ブース展開 | 継続 | | 宝塚温泉まつり　　5月1日　来場約600人<br>（宝塚市きずな推進事業行政連携２年目）<br><br>共生UGANまつり１０月２３日　４５団体<br>来場約１１００人<br>「生」のプロジェクト　１月１７日２５０人<br>てんてん宝塚現代美術シンポ　５０人 |
| 473 | 8 | 宝塚第一 | 3 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.1　武庫川右岸のまちづくりの検討 | 3　サンビオラまつりなど | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 継続 | | 今年度は開催なし | 継続 | | 感染症で中止 |
| 474 | 8 | 宝塚第一 | 4 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 1　河川環境の整備 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 環境部会<br>地域支援の形式で、近隣自治会と調整の上での協働作業とする<br>地域交流部会<br>兵庫県と宝塚市に武庫川の橋の整備を要望する。河川広場の祭りに県と市がブースを出すまで官民連携が進む<br>宝塚大橋完成を70周年で祝う | 継続 | | 環境部会<br>地域支援の形式で、近隣自治会と調整の上での協働作業とする<br><br>地域交流部会<br>以前から整備を要望ー 武庫川右岸芝生化実現<br>宝塚市公園河川課と協働でUGAN祭り開催<br>引き続き、宝来橋の改修、迎宝橋付近の整備をを官民で継続審議中 |
| 475 | 8 | 宝塚第一 | 5 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 2　街並み緑化活動の支援（「地域花壇の管理支援」「小中学校の緑の管理」等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | ・校区内12の花壇グループに協力金提供<br>・校区内公園の調査実施 | 継続 | | ・校区内12の花壇グループに協力金提供<br>・光が丘中学環境ボランティア参加（卒業式時期の寄植え・花壇の手入れ）年数回<br>・校区内公園の調査実施 |
| 476 | 8 | 宝塚第一 | 6 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 3　まち美化一斉清掃 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 環境部会<br>自治会主体で年2回実施<br><br>地域交流部会<br>自治会で実施 | 調整中 | | 環境部会<br>自治会主体で年2回実施<br><br>地域交流部会<br>自治会で実施 |
| 477 | 8 | 宝塚第一 | 7 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 4　ペットの飼い方マナーの向上 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 自治会および住民有志主体で野良猫の捕獲・TNR活動。随時 | 継続 | | 自治会および住民有志主体で野良猫の捕獲・NTR活動。随時 |
| 478 | 8 | 宝塚第一 | 8 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 5　害鳥・害獣対策 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 自治会主体でアライグマ等の捕獲。随時 | 継続 | | 自治会主体でアライグマ等の捕獲。随時 |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 479 | 8 | 宝塚第一 | 9 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 6　里山の保全 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 環境部会<br>他団体との協力にて、武庫山の森の共同作業。随時<br>櫻守の会より講師派遣。里山保全の勉強会実施（3/10） | 継続 | | 環境部会<br>他団体との協力にて、武庫山の森の共同作業。随時<br><br>地域交流部会<br>4月3日　地域の里山「武庫山の森」を環境保全されている櫻守の会の方々と交流会。<br>参加市民18名 |
| 480 | 8 | 宝塚第一 | 10 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 7　桜並木など街路樹の維持・管理 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 環境部会<br>自治会主体で、桜の老木の伐採。随時<br><br>地域交流部会<br>自治会で実施 | 継続 | | 環境部会<br>自治会主体で、桜の老木の伐採。随時<br><br>地域交流部会<br>自治会で実施 |
| 481 | 8 | 宝塚第一 | 11 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 8　ゴミ削減に向けての資源ゴミ回収・啓発活動の実施 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | ・自治会主体で、定期的にアルミ缶・古紙回収。 | 継続 | | ・自治会主体で、定期的にアルミ缶・古紙回収。<br>・クリーンセンターより講師派遣。ゴミ問題、ゴミ減量について知識を深める（2/21・2／24実施） |
| 482 | 8 | 宝塚第一 | 12 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 9　不用品交換会などリユースの促進 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | ・一小宝梅ハウスにてフードドライブ実施 | 継続 | | ・一小宝梅ハウスにてフードドライブ実施 |
| 483 | 8 | 宝塚第一 | 13 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.2　緑の保全・環境形成 | 10　環境に配慮したイベント運営、参加者・理解者の拡大の工夫 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | ・グリーンアドバイザーを講師に迎え、寄植え講習会を実施。11/14実施（参加者24名） | 継続 | | ・グリーンアドバイザーを講師に迎え、寄植え講習会を実施。11/25実施（参加者28名） |
| 484 | 8 | 宝塚第一 | 14 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.3　公園・集会所の整備 | 1　空き家、マンション集会室等の地域資源調査、活用の検討 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 継続 | | ・公共の施設がない一小校区、自治会館もない地域で、少しでも活用できる場所がないか検討（防災・福祉など多面的に） | 調整中 | | 重点プロジェクトBで実態調査 |
| 485 | 8 | 宝塚第一 | 15 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.3　公園・集会所の整備 | 2　校区の公園の役割見直し（過去に実施した公園調査の成果の再整理、追加） | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 継続 | | ・重点プロジェクトDと連携 | 継続 | | ・重点プロジェクトDと連携 |
| 486 | 8 | 宝塚第一 | 16 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.3　公園・集会所の整備 | 3　公共空間の有効活用に向けた市・開発者との調整（集会所、公園の集約化など） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 環境部会<br>・宝塚ホテル跡地の公開空地の利用について協議中<br>重点PJ次世代支援D<br>MAPづくりのため公園の実態調 | 継続 | | 環境部会<br>・宝塚ホテル跡地の公開空地の利用について協議中<br><br>地域交流部会<br>宝塚ホテル跡地公共空間活用で開発業者と交渉<br>2021年校区内の公園の実態調査（ＰＪＤ）<br>地図化へ調査、来年発行（トレジャーＰＪ） |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 487 | 8 | 宝塚第一 | 17 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.4　地域への愛着と誇りの醸成 | 1　地域の魅力再発見（住民が地元のよさを再認識するまち歩きなどを実施する）（1.6.1に再掲） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 継続 | | 地域交流部会<br>（1）6/4「旧跡の小浜宿のまちあるき」　参加26名<br>（2）9/2「商店街を盛り上げる学生と交流（池田市）」　参加10名<br>（3）9/17「波豆川親子カヌー体験」（見守り）　体験参加80名<br>（4）11/18「妙見山ケーブルとリフト体験」　参加5名 | 継続 | | 地域交流部会2022年度まち歩き<br>（1）４月３日武庫山の森探索　参加１８名<br>（2）６月４日「手塚治虫の足跡を探して」をテーマに武庫川左岸地域を親子参加約60名<br>（3）9月25日伊丹歴史まち歩き（有岡城址、郷町　酒蔵通り、旧岡田家住宅、長寿蔵）酒造りを学芸員から説明、宮水体験。<br>参加27名 |
| 488 | 8 | 宝塚第一 | 18 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.5　地域密着型の事業を展開 | 1　「宝塚南口、武庫川右岸のにぎわい」を考える場づくり（1.1.1に掲載） | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 継続 | | 重点プロジェクト担当Aの地域交流部会が中心に「地域交流ネットワーク会議」を開催。住民同士で課題を洗い出し必要に応じて要望書作成し官民協働のまちづくりを進めている | 継続 | | 重点プロジェクト担当Aの地域交流部会が中心に「地域交流ネットワーク会議」を開催。住民同士で課題を洗い出し必要に応じて要望書作成し官民協働のまちづくりを進めている |
| 489 | 8 | 宝塚第一 | 19 | 1．継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい） | | 1.6　地域のお店や事業者を利用 | 1　地域の魅力再発見（1.4.1に掲載） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 継続 | | 宝塚温泉まつり　4/29<br>来場者約1500名（宝塚市きずな推進事業行政連携３年目）<br>旧温泉街写真展示、宝塚音頭体験など<br><br>Uganまつり　10/21<br>来場者約1100名　30ブース展開<br>近隣店舗や団体からブース出店 | 継続 | | （1）5月1日　宝塚温泉まつり（600名）にて、旧温泉街写真、宝塚音頭体験など<br>（2）12月10日「中高生15名からまちづくり提案」旅館組合、郷土史家など参加約60名 |
| 490 | 8 | 宝塚第一 | 20 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.0　情報の収集・共有・発信 | 1　地域情報の把握・共有 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 継続 | | ー小まち協ブログで地域情報を発信<br>自治会等地域の情報収集に取り組み、広報紙にも取り上げた | 継続 | | ー小まち協ブログで地域情報を発信 |
| 491 | 8 | 宝塚第一 | 21 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.0　情報の収集・共有・発信 | 2　広報紙発行・全戸配布体制の強化 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 継続 | | まち協広報誌を年3回発行　No.５１(7/1) No.５２(11/15) No.53(3/31)<br>まち協広報紙は自治会や管理組合等の協力を得て配布。<br>配布協力員が広報紙持ち込み時に配布の協力への呼びかけを積極的に行った。<br>自治会の活動など地域の活動も紙面に反映するとともに、読み手に響きやすい紙面づくりを工夫した。<br>公民館やサンピオラなどに広報紙を置いてもらった。 | 継続 | | まち協広報紙はコロナ下でまち協の活動が制限されたものの、活動の再開や自治会長等配布協力のお陰で、2022年度は年3回の発行できた。No.48(7/1) No.49(11/1) No.50(3/31)<br>まち協広報紙は自治会や管理組合等の協力を得て配布。<br>配布協力員が広報紙持ち込み時に配布の協力への呼びかけを積極的に行った。<br>自治会非加入世帯への配布も数件協力いただけている。<br>新会長が積極的に自治会長・管理組合を訪問し対面でまち協活動への協力を依頼して協力者を増やしてくれた。 |
| 492 | 8 | 宝塚第一 | 22 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.0　情報の収集・共有・発信 | 3　ブログ発信・体制・ルールの検討 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 継続 | | ブログによる情報発信（まち協の活動、自治会はじめ地域の活動）を都度行った（各部会・本部）会長が積極的にUP閲覧者の増加につながった。 | 継続 | | ブログによる情報発信を都度行った（各部会・本部）会長が積極的にUP閲覧者の増加につながった。<br>ブログ講習会を開催した。11/9 |
| 493 | 8 | 宝塚第一 | 23 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.0　情報の収集・共有・発信 | 4　広報板の充実と活用 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 市の広報板だけでなく、自治会や個人が設置している広報板などを利用してチラシ等の掲示を行った。<br>店などでのチラシの張り出し、設置の協力も得た。 | 継続 | | 昨年度プロジェクトCが実施した公園状況確認に合わせた広報板の確認後、追加劣化補修の必要希望は上がってこなかった。<br>市の広報板だけでなく、自治会や個人が設置している広報板などを利用してチラシ等の掲示を行った。 |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 494 | 8 | 宝塚第一 | 24 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.1　多世代が交流する場づくり | 1　みんないっしょ夏まつりなどの実施（4.4.2に再掲） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 環境部会<br>・夏まつり：校舎耐震工事のため中止<br>・UGANまつり（10/21）共催<br>・温泉まつり（4/29）協力<br><br>地域交流部会<br>小学校耐震工事のため校庭使用できず。 | 継続 | | 環境部会<br>・夏まつり：コロナ対策のため中止<br>・集まれー小トレジャーハンター：雨天中止<br>・UGANまつり（10/22）共催<br>・温泉まつり（5/1）協力<br><br>地域交流部会<br>感染症対策で学校が中止を決める。2020年～2023年度まで開催を見送る |
| 495 | 8 | 宝塚第一 | 25 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.1　多世代が交流する場づくり | 2　宝梅ハウスでの地域住民の交流の場づくり（「宝梅ハウスまつり」等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 宝梅ハウス<br>・宝梅ハウス祭り<br>内容の充実（バージョンアップ）<br>助成金活用<br>参加者の増大等<br>・宝梅ハウスの内、外の広報版を活用して地域情報、まち協イベント等のポスターを掲示している<br>・くつろぎカフェ毎週水曜日午後開催<br>ツカボ移動カフェ第4水曜日開催 | 継続 | | ①　宝梅ハウスまつり　１０月３１日　５０人<br>②　焼き芋会　１２月１０日　２０人 |
| 496 | 8 | 宝塚第一 | 26 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.1　多世代が交流する場づくり | 3　宝梅ハウスを地域情報など情報発信の場とする | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 広報委員会<br>・ハウス内に広報紙などを張り出し、まち協活動紹介、地域活動を紹介<br>・広報版にチラシ等を張り出し<br><br>宝梅ハウス<br>・宝梅ハウス祭り<br>内容の充実（バージョンアップ）<br>助成金活用<br>参加者の増大等<br>・宝梅ハウスの内、外の広報版を活用して地域情報、まち協イベント等のポスターを掲示している<br>・くつろぎカフェ毎週水曜日午後開催<br>ツカボ移動カフェ第4水曜日開催 | 継続 | | 広報委員会<br>広報紙で俳句を募集して、応募のあった俳句をハウス利用の書道の先生に筆耕してもらい、短冊をハウスまつりで展示することで交流・情報交換のきっかけづくりを行った。<br>各部の活動状況やまち協活動紹介パネルをハウスに継続掲示し、まち協の活動をハウス利用者に知ってもらえるようにした。<br>宝梅ハウス前の掲示板を利用してチラシ等を掲示。<br><br>宝梅ハウス<br>①（宝梅ハウス）宝梅ハウスの内、外の広報版を活用して地域情報、まち協イベント等のポスターを掲示している。　②　くつろぎカフェを通して地域の方々と交流、情報交換の場になっている。 |
| 497 | 8 | 宝塚第一 | 27 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.1　多世代が交流する場づくり | 4　宝梅ハウスの認知度を上げる（評議委員会でPR、自治会見学会の実施等） | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | 継続 | | 宝梅ハウス<br>・くつろぎカフェやシニアの趣味の教室を活用して作品作りをしている。 | 継続 | | ①　「くつろぎカフェ」毎週水曜日午後開催<br>「ボランティアセンターツカボ移動カフェ」第４水曜日午後開催 |
| 498 | 8 | 宝塚第一 | 28 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.2　生きがいをもって地域で活躍する場づくり | 1　シニアの生きがい、活躍の場づくりの検討（世代の枠を超えて集まる機会、場づくりを促進する。個々の持つ能力を発揮する場を創る。ひいては地域の防災力を高める。） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 地域交流部会<br>・7/16　地域ネットワーク会議開催<br>「市民として行動する次世代メンバーシップの構築～中高生の活躍の場をどう創造するか～」　講師：川中大輔氏<br>参加　20名 | 継続 | | 地域交流部会<br>(1)２月5日早瀬講演会<br>「参加の力」が創る共生社会　参加４３名<br>大阪ボランティア協会理事長早瀬昇さん講演。<br>民生委員や自治会長などの参加者の中に<br>ブログ見て地域から参加されたシニア１名。<br><br>(2)10 月23日 UGAN祭りにて兵庫県阪神シニアカレッジから研修でシニアの方２人。<br>卒業後、地域活動へつながることを期待。<br><br>宝梅ハウス<br>毎週水曜日　くつろぎカフェ開催　シニアの生 |
| 499 | 8 | 宝塚第一 | 29 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.2　生きがいをもって地域で活躍する場づくり | 2　地域で活躍する人材の発掘・確保（サロン運営スタッフの発掘が急務） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 校区１５のサロンと社協など参加する「福祉地域ネットワーク会議」で交流と立案 | 継続 | | 校区１５のサロンと社協など参加する「福祉地域ネットワーク会議」で交流と立案 |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期）2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| 500 | 8 | 宝塚第一 | 30 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.3　地域での見守り、支えあいの充実 | 1　ふれあいサロンの活用、支援（身近な居場所として、健康増進、いきがいづくり、情報発信の貴重な場） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 一小宝梅ハウス<br>くつろぎカフェの開催（毎週水曜日）<br>サロン交流会の開催<br>3/19　宝塚公会堂 | 継続 | | 一小宝梅ハウス　くつろぎカフェの開催（毎週水曜）<br>サロン交流会の開催　　３/１４宝塚公会堂　３０名参加　　校区１０箇所のサロン支援 |
| 501 | 8 | 宝塚第一 | 31 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.3　地域での見守り、支えあいの充実 | 2　健康づくり活動の推進（いきいき百歳体操、ラジオ体操等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | いきいき百歳体操　の開催　校区自治会、サロン等<br>夏休みラジオ体操の開催（一小チームラジ体と共催）７/２３～８/２８　校区１２箇所<br>春休みラジオ体操の開催（一小チームラジ体と開催）３/２６～４/６　宝塚南口河川敷 | 継続 | | いきいき百歳体操　の開催　校区自治会、サロン等<br>夏休みラジオ体操の開催（一小チームラジ体と共催）７/２３～８/２８　校区１２箇所<br>春休みラジオ体操の開催（一小チームラジ体と開催）３/２６～４/６　宝塚南口河川敷 |
| 502 | 8 | 宝塚第一 | 32 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.3　地域での見守り、支えあいの充実 | 3　障がいや認知症、LGBT、外国籍など多様な暮らし、文化を学ぶ機会づくり（3.3.2に再掲） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 地域交流部会<br>・10/21　Uganまつりのテーマは「共生」。障碍者団体がブース出店<br><br>福祉部会<br>・福祉勉強会　　「障がい当事者の生活を理解する」<br>　講師：特定非営利活動法人とことこあいえるせんたー職員 | 継続 | | 地域交流部会<br>１０月２３日UGAN祭りのテーマは「共生」です。障碍者団体がブース出店して、発達障碍者の児童たちが芝生広場でオリジナル喜劇を披露。中学生らが飛び入り体験で交流する学ぶ機会の場を作る。<br><br>福祉部会<br>・福祉勉強会　　「視覚障がい者の方の特性と生活を理解する」<br>講師　　くらんど人権文化センター　本宮　勢也氏 |
| 503 | 8 | 宝塚第一 | 33 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.4　生活支援サービスの充実 | 1　医療や介護の専門家との連携 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | 福祉部会<br>こむの事業所移動販売　毎週水曜　宝梅ハウス<br><br>宝梅ハウス<br>くつろぎカフェ開催日に合わせて野菜、果物、お菓子等の販売をすることでカフェに来られている方々の買い物負担の軽減になり事務所への就労支援にも繋がる取り組み。（こむの事業所移動販売） | 継続 | | 福祉部会<br>こむの事業所移動販売　毎週水曜　宝梅ハウス<br><br>宝梅ハウス<br>くつろぎカフェ開催日に合わせて野菜、果物、お菓子等の販売をすることでカフェに来られている方々の買い物負担の軽減になり事務所への就労支援にも繋がる取り組み。（こむの事業所移動販売） |
| 504 | 8 | 宝塚第一 | 34 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.4　生活支援サービスの充実 | 2　買い物代行、支援などの生活支援の充実 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 未着手 | | | 未着手 | | |
| 505 | 8 | 宝塚第一 | 35 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.5　マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり | 1　マンション・コミュニティ実行委員会立ち上げ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 調整中 | | まだまだ難しい状況だが、プロジェクトA・Cと連携して進める方向性を出した。 | 調整中 | 2月度役員会で行政と話し合いの場を持つことに決定 | どうすすめるかプロジェクトチームで会合を持ったが進捗なし。<br>防災委員会と一緒に　防災の切り口でマンションにアプローチできないか思案、防災委員会への参加案内状を送り、防災委員会防災訓練への参加を促した。<br>マンションとの関係構築が手詰まりの状態で、民生児童委員の活動など様々な場面でも困難・放置できない状況の中、今後行政も交え打開策を模索する話し合いを持つことにした。 |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 506 | 8 | 宝塚第一 | 36 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.5　マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり | 2　地域のPRツールづくり | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 調整中 | | PRツールづくりは未着手だが、まずまち協を知ってもらうために<br>・広報誌の配布を通じてのつながりづくり。（配布担当者が管理組合に声掛け）<br>・イベントのチラシ配布 | 未着手 | | 人的リソースの不足。紙媒体でない方法の検討必要。 |
| 507 | 8 | 宝塚第一 | 37 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.5　マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり | 3　モデルマンションとの話し合い | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 継続 | | ・旧宝塚ホテル跡地タワーマンション開発にかかる話し合いを継続。管理組合が立ち上がったら、協議できる場を作る方向で調整中。<br>・プロジェクトCの防災会や訓練等の参加者や、まちづくり推進委員会でマンション住民の声を聞いた。 | 調整中 | | 505の備考の通り　どう進めるか思案中。まずモデルマンションと進めることを確認。 |
| 508 | 8 | 宝塚第一 | 38 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.5　マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり | 4　マンション防災・福祉検討プログラムづくり | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | 調整中 | | プロジェクトA・Cと連携して進める方向性を出した。 | 調整中 | | 505の通り防災を切り口に関係づくりに着手を始めた。 |
| 509 | 8 | 宝塚第一 | 39 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.5　マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり | 5　マンション防災・福祉検討プログラム実施 | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 調整中 | | ・防災委員会の防災訓練や福祉ネットワーク会議等への参加を呼びかけた。<br>・プロジェクトA・Cと連携して進める方向性を出した。 | 未着手 | | |
| 510 | 8 | 宝塚第一 | 40 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.5　マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり | 6　マンション居住者の見守り体制づくり（マンション内での孤立を防ぎ、近隣の住民との支えあいを図る） | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 調整中 | | プロジェクトB<br>地域交流部会・福祉部会や他のプロジェクトと一緒に取り組む方向性を出した。 | 未着手 | | プロジェクトB<br>505の備考の通り。<br><br>地域交流部会<br>既存マンション（５０棟）、新マンション（タワーマンション2棟）に自治会や自主防災会など基本コミュニティ窓口を作ることから始めることが官民で確認。２０２３年度から市民協働 |
| 511 | 8 | 宝塚第一 | 41 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.6　地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり | 1　地域福祉ネットワーク会議の開催（地域の福祉課題解決のための交流） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 地域福祉ネットワーク会議の開催<br>・7/8「障がい当事者の声を聞いてみなぁ～い」　参加者30名<br>講師：特定非営利活動法人とことこ　あいえるせんたー職員<br>・2/3「子どもたちを取りまく現状を考える」　参加者45名<br>講師：一般社団法人楽笑　代表理事　石井克馬氏 | 継続 | | 地域福祉ネットワーク会議の開催　テーマ～支えあえる地域をめざして～　７/２　４０名<br>テーマ～子どもの地域生活を考える～　　１１/１９　　４５名 |
| 512 | 8 | 宝塚第一 | 42 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.6　地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり | 2　福祉ブロックの整備（住民の意見を反映した、日常及び非常時に支えあうブロック割の整備） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 未着手 | | | 未着手 | | |
| 513 | 8 | 宝塚第一 | 43 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.6　地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり | 3　ブロックごとの拠点確保（日常の居場所であり、災害時の一時避難の場、情報発信の場となる） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | 継続 | | 各地区で拠点となりうる場所を選定し一小校区防災デジタルマップに反映するため、行政と用語やマークなど統一するための調整中 | 継続 | ● | 地区防災委員会で各ブロックごとの安全ゾーン（一時避難所）を見つける活動を始めた |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 514 | 8 | 宝塚第一 | 44 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.6　地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり | 4　校区内地域ごとの情報整理・共有（GIS(地理情報システム)を活用して、情報の分析を促進する） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 一小校区防災デジタルマップの作成 | 継続 | ● | ブロックごとの安全ゾーン・避難経路・防災倉庫等を書き込んだ地図を<br>デジタル化して共有する方向に着手 |
| 515 | 8 | 宝塚第一 | 45 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.6　地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり | 5　地域交流ネットワーク会議の開催（地域の課題解決のための団体の知恵の交流） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | 地域交流部会<br>・7/16　地域ネットワーク会議開催<br>「市民として行動する次世代メンバーシップの構築～中高生の活躍の場をどう創造するか～」　講師：川中大輔氏<br>参加　20名 | 継続 | | 8月６日　地域交流ネットワーク会議　議題「一小大規模校解消へ教育委員会と対話」<br>児童数1100人の超大規模校、仮設教室棟で学校内に空き教室がない課題。２棟の大型マンションが建つことで児童数増が見込まれ、教育環境の悪化にどう向き合うかを官民で協議。 |
| 516 | 8 | 宝塚第一 | 46 | 2．地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり） | | 2.6　地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり | 6　西谷地区をはじめとする他地区との交流事業（課題を解決するために連携する） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 地域交流部会<br>・9/17　宝塚市北部西谷地区波豆川でカヌー体験　参加80名 | 継続 | | ８月11日宝塚市北部西谷地区佐曽利川でカヌー体験会。親子４０名参加。<br>9月16日、第2回西谷フォーラム約１００人に登壇。２つの校区の交流の歴史と絆を確認（西谷里山、黒豆の植え付け体験など） |
| 517 | 8 | 宝塚第一 | 47 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 1　防災教育事業の推進(「児童防災訓練」等) | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 1月25日　第一小学校４年生対象に児童防災を実施 | 継続 | | 1月30日　第一小学校４年生を対象に児童防災を実施 |
| 518 | 8 | 宝塚第一 | 48 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 2　防災訓練の実施 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 地区防災委員会<br>2024/1/20『LINEを使った安否確認と避難所開設訓練』実施 | 継続 | | 安全部会<br>一小校区防災訓練『地域を知ろう！防災まち歩き』2023/2/19実施　白地図の検証<br>甲子園大学での紅葉ヶ丘自主防災会の避難訓練への参加<br><br>地区防災委員会<br>一小校区防災訓練『地域を知ろう！防災まち歩き』2023/2/19実施　白地図の検証 |
| 519 | 8 | 宝塚第一 | 49 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 3　避難所開設訓練の実施 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 2024/1/20『LINEを使った安否確認と避難所開設訓練』実施<br>防災備品の確認と段ボールベッド組み立てなど | 継続 | | 地区防災委員会で実施にむけ準備 |
| 520 | 8 | 宝塚第一 | 50 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 4　防災設備（倉庫、無線、情報伝達手段など）の充実と整備 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 避難所開設訓練で備蓄品の確認<br>圧倒的に備蓄品が少ないため、今後必要な物数量を検討していく<br>情報共有システム「一小校区防災デジタルマップ」作成 | 継続 | | ２月19日に実施した防災まち歩きで、各ブロックと無線の通信テストを実施<br>無線機管理方法等を検討する　　小学校井戸設置 |
| 521 | 8 | 宝塚第一 | 51 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 5　自主防災会ごとの防災方針の作成 | ○ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | 継続 | | 各自治会、自主防災会が取り組む課題を出し合い、解決にむけて進捗確認をした | 継続 | | 地区防災委員会を通して、各自主防災会と連携し課題解決を図る |
| 522 | 8 | 宝塚第一 | 52 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 6　ブロックごとの地区防災計画の作成 | | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | 継続 | | 地区防災委員会で各ブロックの課題を提示し、課題解決に向けて取り組む | 継続 | | 地区防災委員会で各ブロックの課題を確認　計画作成に向けて目標を設定 |
| 523 | 8 | 宝塚第一 | 53 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 7　ブロック単位防災訓練、避難訓練の実施 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | １月20日の防災訓練でLINEチャットボットを活用し、各ブロックから周辺の状況を報告しながら避難経路を辿って小学校に避難する訓練実施 | 継続 | | 地区防災委員会を通して、各ブロックと連携し訓練実施に向け働きかける |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 524 | 8 | 宝塚第一 | 54 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.1　災害時への対応、防災計画づくり | 8　防災のリーダー育成 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | 継続 | | 地区防災委員会を通じて防災について取り組むなかで、防災士、防災リーダーの資格を取得する人が増えつつある | 継続 | | 「一小校区防災リーダーの会」立上げ　りーダー間の情報共有と研修会等でスキルアップを図り、<br>地区の防災リーダーとしての役割を果たす |
| 525 | 8 | 宝塚第一 | 55 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.2　一時避難所の設定 | 1　宝梅ハウスの避難所としての利用の検討（改修も含めて） | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | 継続 | | 届出避難所を一旦解消し、今後宝梅ハウスを防災の情報拠点として整備していく | 継続 | | 避難所としての機能の検証と、在宅避難支援のための情報拠点の役割を<br>担う場所として活用を考える |
| 526 | 8 | 宝塚第一 | 56 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.2　一時避難所の設定 | 2　小学校への避難困難地区での一時避難所の検討・設置 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 未着手 | | 校区の特性として一時避難所にできるような施設が無い<br>基本的に在宅避難を進める環境整備が必要 | 継続 | | ブロックごとの安全ゾーンの確定と共に、在宅避難を支援する<br>情報・物資・人の集まる拠点づくり |
| 527 | 8 | 宝塚第一 | 57 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.3　災害時要援護者の把握と日常的に顔の見える関係づくり | 1　災害時要援護者支援体制の充実 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 未着手 | | 今年度、地区防災委員会に民生児童委員にも参画してもらっているが、要援護者支援体制については未着手 | 継続 | | （重点プロジェクトC）民生委員にて実施<br>（地区防災委員会）地区防災委員会としては未着手。今後の進め方として団体との情報交換が必要と考える。 |
| 528 | 8 | 宝塚第一 | 58 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.3　災害時要援護者の把握と日常的に顔の見える関係づくり | 2　障がいや認知症、LGBT、外国籍など多様な暮らし、文化を学ぶ機会づくり（2.3.3に掲載） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 10/21　Uganまつりのテーマは「共生」で、障碍者団体がブースを展開。 | 継続 | | １０月２３日UGAN祭りのテーマは「共生」で、障碍者団体がブースを展開。発達障碍者の児童たちがオリジナル喜劇を披露。中学生らが飛び入り体験で交流する学ぶ機会の場を作る。 |
| 529 | 8 | 宝塚第一 | 59 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.4　交通インフラの充実 | 1　校区住民の移動手段の確保を考える（広い校区と坂道などの課題も、移動手段があれば、拠点の位置の問題も緩和される） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 調整中 | | ランランバス委員会で協議 | 調整中 | | ランランバス委員会で協議 |
| 530 | 8 | 宝塚第一 | 60 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.4　交通インフラの充実 | 2　渋滞緩和 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | 調整中 | | 宝塚ホテル跡地連絡会で開発業者と交渉 | 調整中 | | 宝塚ホテル跡地連絡会で開発業者と交渉 |
| 531 | 8 | 宝塚第一 | 61 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.4　交通インフラの充実 | 3　道路の安全性の向上（スピード抑制、道路拡幅・改善等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 安全部会が設置した古い電柱幕交換を進める | 継続 | | 安全部会で寿楽荘に交通看板設置 |
| 532 | 8 | 宝塚第一 | 62 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.5　危険個所の改善・バリアフリー化 | 1　通学路の見守り | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 育友会愛護部と話し合いをし、広報紙に見守りボランティア募集の記事掲載。まちづくり推進委員会で提案 | 継続 | | まち協は関われず |
| 533 | 8 | 宝塚第一 | 63 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.5　危険個所の改善・バリアフリー化 | 2　交通安全の啓発（交通安全教室の実施等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 今年度は第一小学校での自転車教室開催できず。 | 継続 | | 自転車教室の開催 |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 534 | 8 | 宝塚第一 | 64 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.5　危険個所の改善・バリアフリー化 | 3　校区内の安全対策（危険箇所の見守り、改善等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 電柱幕の整備<br>まちづくり推進委員会などを通した要望の把握 | 継続 | | 安全部会<br>電柱幕の設置（3月予定）<br><br>地域交流部会<br>学校安全対策委員会にて県と市に改善を申し入れてきた箇所の前進①宝塚インそばT字路歩道に柵を設置、②逆瀬川コープ横の道路に柵設置③宝梅坂、藪中交差点の路面表示改善 |
| 535 | 8 | 宝塚第一 | 65 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.5　危険個所の改善・バリアフリー化 | 4　校区内危険の改善（年に1回、行政側と進捗を協議確認） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | 継続 | | 9/15　小学校安全対策委員会より、県や市などと合同で通学路安全点検実施 | 継続 | | 学校が安全対策委員会を２年に１回開催を県と市に呼びかけ通学路の危険個所を現場視察。前回２０２１年実施したので２０２３年に現場視察を申し入れる。 |
| 536 | 8 | 宝塚第一 | 66 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.6　防犯対策の充実 | 1　防犯活動の啓発 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 自治会で実施 | 継続 | | 自治会で実施 |
| 537 | 8 | 宝塚第一 | 67 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.6　防犯対策の充実 | 2　アトム110番など地域での見守り | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 自治会で実施 | 継続 | | 自治会で実施 |
| 538 | 8 | 宝塚第一 | 68 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.6　防犯対策の充実 | 3　防犯カメラの設置 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 自治会で実施 | 継続 | | 自治会で実施 |
| 539 | 8 | 宝塚第一 | 69 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.6　防犯対策の充実 | 4　街路灯の増設 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 自治会で実施 | 継続 | | 自治会で実施 |
| 540 | 8 | 宝塚第一 | 70 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.6　防犯対策の充実 | 5　門灯の点灯 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 自治会で実施 | 継続 | | 自治会で実施 |
| 541 | 8 | 宝塚第一 | 71 | 3．思いをひろげる（安全・安心） | | 3.6　防犯対策の充実 | 6　消費者教育の実施（特殊詐欺被害防止啓発、等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 自治会にて実施 | 継続 | | サロンでプログラムとして展開 |
| 542 | 8 | 宝塚第一 | 72 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.1　子どもたちのあそびの場づくり | 1　一小っ子遊ぼう会への支援（新しい担い手づくり） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 2023年度　遊ぼう会　9月まで耐震工事のため開催中止<br><br>開歳回数　６回<br>児童の延べ参加数　779名<br>お手伝いの保護者延べ人数　47名 | 継続 | | 2022年度　遊ぼう会１５回開催<br>児童参加数　のべ約１６００名<br>当日見守り保護者総数約１００名<br>事務局３人体制で担い手募集中です |
| 543 | 8 | 宝塚第一 | 73 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.1　子どもたちのあそびの場づくり | 2　子どもの習い事に部屋を貸し出す（世代間交流につなげる） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 地域の教室に部屋の貸し出しを継続している<br>成果発表の場として宝梅ハウスまつりの中で作品の展示や発表の場を設けた | 継続 | | これまでも習字や英語など様々な取り組みに貸出し地域の子どもたちが生き生きと学んでいる<br>その成果の一部は宝梅ハウスまつりの中で作品展示をしたり発表の場をつくっている |
| 544 | 8 | 宝塚第一 | 74 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.2　中・高校生向けの空間づくり | 1　自習室として地域の拠点の開放を検討 | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | 継続 | | 宝梅ハウス<br>・宝梅中学校の定期考査前の土日に<br>　10時～16時まで宝梅ハウスを開放して学習の場として学生に利用してもらう。 | 継続 | | 試行的に宝梅中学校生徒へ学期末試験用に宝梅ハウスの貸し出しを行い延25名の参加があった<br>次年度以降、テスト対策だけでなく不登校生への居場所など、より使いやすい開放の方法を検討する |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 545 | 8 | 宝塚第一 | 75 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.2　中・高校生向けの空間づくり | 2　音楽や運動などができる場の確保 | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 調整中 | | プロジェクトDで調整中 | 継続 | | |
| 546 | 8 | 宝塚第一 | 76 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.3　中・高校生が地域で活躍する場づくり | 1　防災行事・まつり等地域活動への参加、実行委員会への参加推進 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | プロジェクトD<br>これまでも夏休み工作教室などに参加する機会はあったが、企画段階からより積極的に参加できるような場を検討していく<br><br>地域交流部会<br>宝塚温泉まつり、UGAN祭りで中学生が司会進行、各ブース運営に参加。 | 継続 | | プロジェクトD<br>これまでも夏休み工作教室などに参加する機会はあったが、企画段階からより積極的に参加できるような場を検討していく<br><br>地域交流部会<br>宝塚温泉まつり、UGAN祭りで中学生が司会進行、各ブース運営に参加。宝塚のまちづくりへZ世代からの提言プレゼンを行う。<br>3事業で、参加中学生徒合計５０名。 |
| 547 | 8 | 宝塚第一 | 77 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.4　世代間交流の推進 | 1　世代間交流事業の推進（「工作教室」等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 福祉部会・子育て部会合同開催<br>世代間交流広場（工作教室）<br>7/25 国際・文化センター 160名参加 | 継続 | | 子育て部会<br>毎年、夏休み工作教室として世代間交流広場を継続実施している　今後、高校生・大学生にも参加を拡げていく<br><br>福祉部会<br>　夏休み世代間交流会広場夏休み工作教室開催<br>７/２９　　８０名参加 |
| 548 | 8 | 宝塚第一 | 78 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.4　世代間交流の推進 | 2　みんないっしょ夏まつりなどの実施（2.1.1に再掲） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 今年度も夏まつり中止<br>これに代わる世代間交流の場として<br>Uganまつりなどを実施 | 継続 | | 大規模校で、感染拡大を懸念して総合的判断で夏祭りの開催を自粛。これに代わる世代間交流の場として、UGAN祭りなど実施 |
| 549 | 8 | 宝塚第一 | 79 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.5　子育て世代の場づくり | 1　子育て世代の交流の場づくり（ふれあいサロン等開催） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | 毎月、第2金曜日を原則に福祉部会と子育て部会合同で「子育てふれあいサロン」を宝梅ハウスで開催。未就園児とその保護者の交流の場となっている | 継続 | | 子育て部会<br>毎月、第２金曜日を原則に「子育てふれあいサロン」を宝梅ハウスで実施、未就園児道と保護者の良い交流の場、子育ての息抜きの場となっている<br><br>福祉部会<br>子育てふれあいサロンの開催　　月１回<br>１０回開催　宝梅ハウス |
| 550 | 8 | 宝塚第一 | 80 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.5　子育て世代の場づくり | 2　子育てグループへの支援（子育てサークルの広報等） | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | こもたのカーニバル<br>福祉部会と子育て部会合同で参加協力 | 継続 | | 子育て部会<br>こもたのカーニバルでの工作ブースなど<br><br>福祉部会<br>「こもたのカーニバル』参加協力　１１/２６<br>宝塚市文化芸術センター |
| 551 | 8 | 宝塚第一 | 81 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.6　コミュニティスクール（学校、保護者、地域で子育て、地域育て、学校育て） | 1　「一小の教育現場の課題」の検討 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 継続 | | コミニティ・スクールは3回開催（５/１７）（１２/１５）（２/１５）重点目標、地域との連携、学校の現状、学校運営、学校評価など多岐にわたり意見交換をした。 | 継続 | | ２月７日一小の教室不足、教育環境悪化を官民で考えるため「第一小学校教育環境適正化検討委員会」が発足させる。委員は「地区代表」「保護者代表」「学校関係諸団体」「学校関係者」24名で構成。 |

【令和5年度　進捗確認シート】※このシートは令和6年（2024年）３月３１日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

| | 基準 |
|---|---|
| 完了 | 目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの |
| 継続 | 取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの |
| 調整中 | 取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの |
| 未着手 | 着手できていないもの |

【具体的な取り組み一覧表】　2023/6/30 現在

| 取組番号（全体） | まち協コード | まち協 | 取組番号（まち協ごと） | 具体的な取り組み | | | | | | | | | | | | | | | | | 令和5年度進捗確認欄 | | | 令和４年度進捗確認欄 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 基本目標 | 内容 | | | 種別 | | スケジュール（西暦） | | | | | | 役割分担（協働の領域） | | | | 備考 | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） | 評価 | 次年度対話希望（優先順位又は●を要入力） | 備考（進捗確認） |
| | | | | | 大 | 中 | 小 | 継続 | 新規 | 2020年度 | 第６次総合計画（前期） | | | | | ①市民 | ②主に市民 | ③市民と行政 | ④主に行政 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | | | | | | | | | | | |
| 552 | 8 | 宝塚第一 | 82 | 4．次世代をはぐくむ（将来・未来の担い手を育成） | | 4.6　コミュニティスクール（学校、保護者、地域で子育て、地域育て、学校育て） | 2　青少年関係団体の連携強化 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 継続 | | 育友会、遊ぼう会との連携はあるも、スポーツ21,学校応援団、寺子屋、青少年育成市民会議、青少年歩道委員などとの連携を深めることが課題。 | 継続 | | 感染が広がる中でコミュニティスクール会合実施。「学校評価」などを行う |